

1 研究開発プロジェクト名:

心身のパフォーマンスを向上させる住生活空間・環境・地域に関する研究開発

2 当該年度の研究開発プロジェクト実施予定期間:

2018年4月1日から2021年03月31日 / 3年計画の1年目

3 応募者

氏名	中嶋 一郎
所属機関	住友林業株式会社
所属部局	筑波研究所
職名	研究所長

4 研究開発プロジェクトの概要

これまでの社会は「より便利」「より効率的で安価」なモノづくりを中心に発展し、その結果、豊かなモノに恵まれた便利な社会となっている。その一方で、「自殺・うつ病による経済的損失は約2.7兆円」「国民は人と社会のつながりを求めている」といった、必ずしも幸せな社会とはいえない現状があり、オフィスなどでは健康・快適・生産性が問われ始めており、前述の社会背景とあわせ「精神的な健康(メンタル・ヘルス)」に対する社会的な意識が高まっている。また、超高齢社会では、「多様な世代に対応した住環境」や「多世代交流や相互の支え合いが可能な場・機会」などの生活環境の重要性が示されている。

本研究開発プロジェクトでは、人が生活する“空間”を対象として、これまでの「モノの豊かさ」に加え「こころの豊かさ」を実現することで、心身のパフォーマンスを向上させることを目指す。

脳科学技術により感性を定量化・可視化することで得られる情報を元に、これまでの住環境技術に新たな精神的価値を付加し、自然の要素を空間デザインや環境制御技術に取り入れ、利用者の感性に積極的に作用することで、心身共に健康となり、豊かな感性の喜びを感じられ、人と人・人と自然・人と社会とがつながり、いきいきとした社会を実現することを目的として、建物の内部空間、周辺環境、地域、都市といった、人が生活する“空間”において、人の感性や行動に機能的に作用する空間デザインや環境制御技術に関する研究開発を推進する。

感性評価に基づき、ストレス要因の排除、リラックスや活性、コミュニケーションの促進、さらには認知症予防などに寄与する空間や環境、活動をデザインすることで、精神的な健康の維持増進、生産性の向上、地域社会の活性化を図ることが期待できる。